

坂本：男の子が少年になって、やがて青年になって、父親になって、そしておじいちゃんになって、やがて命が尽きていく。そのプロセスを、若くて元気なときだけにフォーカスしがちなだけけれども、人間の一生を考えたときにはつながっているものだ。その中で、お父さんっていうのはとても重要な時期にあるんだとおっしゃるんですね。自分の人生の中で、親というものの位置をしっかりとらえていくことが大切で、それは社会にとっても求められている視点なのだと思います。

司会：ありがとうございました。ほんとにさまざまなお立場からお話をうかがって、愛情を貯金するものっていうお話が身にしみました。3人の子どもがいるんですけど、段々貯金が減ってきているような、上に行くに従って貯金が減ってきてるかを感じるような気もするので、いっぱい溜め込んでいけるように頑張りたいと思います。

勝浦さん、ほんとにさまざまにエネルギーに動きまわってのコーディネート、どうもお疲れ様でした。どうもありがとうございました。そして藤森さん、田中さん、坂本さん、金子さん、改めて5人の方々に大きな拍手をお願いいたします。どうもありがとうございました。

浜松会場：平成23年 3/5(土)

[会場]浜松市教育文化会館 はまホール〈浜松市中区利町302-7〉



〈第1部〉13:00～ 基調講演

鈴木光司さん

「～新しい家族のあり方～パートナーシップと子育て」

～プロフィール～

著書『リング』が圧倒的に支持されベストセラーに。自らの子育て体験を通し、講演活動も行う。家族の絆、父親の役割について積極的な発言をしている。

〈第2部〉14:10～ パネルディスカッション

「シニア世代による子育て支援」

[コーディネーター]	■静岡県立大学短期大学部 教授	漁田俊子氏
[パネリスト]	■しまだ次世代育成支援ネットワーク 代表	染谷絹代氏
	■NPO法人ボレボレ 事務局長	神谷尚世氏
	■磐田市子育て支援課	鈴木壮一郎氏
	■作家	鈴木光司氏